



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

令和元年12月11日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第223号  
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

教育ミニ集会や小中一貫の日が行われたうなー！

今年度も、多くの中学校区で、中学校区合同教育ミニ集会が開かれています。また、「小中一貫の日」については、今年度から、中学校区ごとにそれぞれの計画に基づいて実施しています。

湖北中学校区 教育ミニ集会

11月11日に、湖北中学校で、湖北小学校、新木小学校の3校合同教育ミニ集会が開催されました。今年、コミュニティスクールアドバイザーの生重氏や布佐中学校区の学校支援コーディネーターの山下氏を招いて、「地域ぐるみで地域の子どもたちを育てる」というテーマのもと、講演やワークショップが行われました。各グループには、教員、地域の方々、保護者が集い、地域ぐるみの子育てについて、様々な意見が出されました。

集会を終え、参加者からは、たくさんの感想が寄せられました。それぞれの立場で、地域の子どもたちに、できる人が、できることから始めればよいことや、地域・学校・保護者が力を合わせて子どもたちを育てていく大切さ、そして開かれた学校づくりの重要性を感じたことが伝わってきました。



白山中学校区 教育ミニ集会

11月12日に、我孫子第四小学校で、我孫子第一小学校、白山中学校との3校合同教育ミニ集会が開催されました。今年、我孫子市教育研究所主査長三津山氏と、アドバイザー守屋氏を招いて、「地域・保護者との共有 ともに育てよう子ども達 ～今の子どもの特徴を知り、心に寄り添う～」というテーマのもと、講演やグループ討議が行われました。

講演では、子どもたちの遊びや取り巻く環境の変化、子育ての課題に触れ、その中で「ちょっと気になる子ども」は、「困っている子ども」であること、周りの人たちの適切な関わりと理解が必要であることなどについてお話いただきました。

その後のグループ討議では、教員、地域の方々、保護者が集い、それぞれの立場から、今の子ども達への理解や関わり方、地域で育てていくための視点など、意見が出されました。

少子・高齢化が進んでいる社会において、地域全体で子どもを「大切に」育てていくべきであること、そのためには、家庭や地域、学校がこのミニ集会のように、集って話す機会を設けることが大切だということを認識する、貴重な機会となったようです。



## 我孫子第三小学校 教育ミニ集会

11月18日に、我孫子第三小学校で、我孫子第二小学校、高野山小学校、我孫子中学校の4校合同教育ミニ集会在開催されました。今年、5校時の我孫子第三小学校全児童参加の「交通安全セーフティー教室」を参観してから、その内容を生かしての教育ミニ集会という流れでした。

講師に学校安全教育研究所教授の矢崎氏をお招きし、「子どもたちを交通事故から守る」と題して、交通安全についてお話しいただきました。子どもたちもさることながら、大人も実は知らないことが多い交通ルールに、驚きの声が上がると同時に、子どもたちが加害者となりうる事例が紹介されると、より意識が高まったようでした。

後半のグループ討議では、学校・保護者から提案のあった、地域安全推進に関する提案についてや、現在の地域の状況について話し合われました。教員、地域の方々、保護者それぞれから、各学区の子どもたちの通学の様子や、通学路の様子などの情報交換や、地域ぐるみで改善すべきことなどについて、たくさんの意見が出されていました。



## 布佐中学校区 小中一貫の日

11月27日に、布佐中学校区3回目の、布佐小学校、布佐南小学校の布佐中学校登校が行われました。布佐中学校では、この日を「小中一貫の日」としています。



今回は、小学生が中学校の先生による「体育科」と「技術科」の体験授業を受けました。体育では、男女別に分かれ、男子は柔道、女子はバドミントンの学習をしました。6年生の男子は、初めの柔道着に四苦八苦。帯を締めるのも一苦勞です。しかし、練習が始まると、慣れない受け身の動きに戸惑いながらも、楽しんで参加する様子が見られました。技術の授業では、コンピュータールームでプログラミングを体験しました。実際にミニカーにプログラ

ミングを読み込ませて走らせると、指示通りに自動で動くミニカーの様子に、感動していたようでした。



体験授業を終えた6年生からは、中学校ならではの教科学習の体験が楽しかったこと、中学校への進学がさらに楽しみになったこと等が感想として述べられました。

また、布佐小学校、布佐南小学校の教員も布佐中学校に集まり、6年生の体験授業はもちろん、普段の中学校の授業を自由に参観しました。「まずは、小学校、中学校の普段の様子を知ること」を大切に、今回の参観が設定され、小学校の教員達は、思い思いにいろいろな教科の授業を参観していました。



最後に、参加した両小学校と中学校の先生が集まり、今年度これまで3回の中学校登校を実施しての成果や課題、来年の取組に向けて、教員それぞれが意見を出し合っていくことの大切さを確認しました。